



長島での陶芸暮らし

大学のサークルで陶芸と出会い、佐賀県の有田窯業大学校で陶芸を学びました。窯元、佐賀大学の研究員を経て、平成25年、鹿児島に移住。最初の5年間は、蔵之元の杉本酒造にお世話になっていました。

午前中は会社の仕事をし、午後は会社の敷地内にある工房で作家活動をするという生活です。同じ形で、陶芸の古賀くん、絵画の桑畑くんという2人の作家も同様の活動をしていました。

長島を拠点として、展示やイベントへの出展を続けていくうちに、島内や北薩のかたがたとのつながりを得て活動の範囲が広がっていきました。来客も多く、島内の案内を通して、長島の美しい風景や美味しいものにも詳しくなりました。

井上貴至副町長(当時)が就任した平成27年頃からは、地域おこし協力隊の皆さんとの交流が活発になり、多様なジャンルのかたがたと会ったり、食べもの付き情報誌「食べる通信」や諸浦島のイベントなどに参加したりすること



で、よい刺激をたくさんいただきました。

長島を舞台にした映画『夕陽のあと』の撮影時には、暮らしていた小浜の家を使ってもらったのも貴重な体験でした。

その頃に知り合った鹿児島の同世代のかたがたからは、オリジナルの器製作の依頼にもつながっています。

杉本酒造を退社後、活動の中心は日置市の美山



に移りましたが、長島で得たつながりが今の仕事に生きていることをはつきりと感じています。この場を借りてお世話になったかたがたに感謝を申し上げます。

城 雅典さん
(じょう・まさのり)

過去に小浜集落居住(茨城出身)
昭和54年生まれ
現住所:日置市東市来町在住
現職:陶磁器作家



「うぶ声・お悔やみ・お礼」は、
個人情報保護のため掲載していません。
ご了承ください。